

第 11 期 pES club シナリオ 1

平成 24 年 1 月 29 日
東京北社会保険病院 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院総合診療部に勤務する 3 年目医師です。
尼土戸完勉先生 (38 歳男性) は 14 年目の内科医師ですが、今日は 2 人でインフルエンザ予防接種外来の当番です。30 人の予約患者にわずか 30 分で予防接種を打ち終えた 2 人は、その素早さに酔いしれていました。

尼土戸「今日は速かったな」

あなた「はい。先生と一緒にだったからです！」

尼土戸「そうだな。こういうのは手早く終えないとな。ところで、先生はインフルエンザワクチン打ったか？」

あなた「はい、打ちました。．．え？先生は打っていないんですか？」

尼土戸「打ってないよ。卵アレルギーがあるからね。でも、これまで打ったことはないけれど、インフルエンザに罹ったことがないから、どのみち打つ必要はないんだよ。どうも、インフルエンザウイルスはオレには寄りつかないみたいだ。その代わりに、毎年ノロウイルスにはやられるんだ。去年も一昨年も入院する羽目になって大変だったんだよ」

あなた「入院ですか！？医者の不養生ってやつですか？」

尼土戸「おい、やめてくれよ。不養生なんじゃなくて、感染力が強いからなんだよ。ノロウイルスには親和性があるんだろうな。．．」

あなた「しかし、これだけ毎年大流行なんですから、インフルエンザみたいにノロウイルスに対するワクチンがあればいいと思うんですけど、ないんですか？」

尼土戸「まだないねえ。あれば助かるなあ。それで胃腸炎にならなくて済むなら、絶対に打つんだけど。医者なのに入院なんてみっともないし、あんな辛いのはもうゴメンだからな」

研修センターに戻ったあなたは、尼土戸先生がノロウイルスワクチンを接種することで胃腸炎が予防できるか、調べてみることにしました。

第 11 期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成 24 年 1 月 29 日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

尼土戸先生はもともと牡蠣やホタテなど貝類が好きですが、生の貝類は怖がって、寿司屋では赤貝などは食べないそうです。

尼土戸先生は妻と 2 人の娘 (4 歳と 1 歳) との 4 人暮らしですが、ほぼ毎年冬になると家族全員が胃腸炎にかかります。中でも尼土戸先生の症状が一番ひどく、ここ 3 年連続、入院する羽目になっています。どうやら当直の数日後に発症するようです。これまでの胃腸炎では、きちんとノロウイルスの検査をしたわけではありませんが、症状の経過からノロウイルスではないかと考えています。他の家族は胃腸炎で入院に至ったことはありません。

尼土戸先生は、小児喘息とアトピー性皮膚炎の既往があります。最近では喘息の発作を起こすことはなく、ほとんど治癒したと言えますが、アトピー性皮膚炎に対してセレスタミン配合錠 2 錠分 1 眠前を服用しています。他に内服している薬剤はありません。薬剤へのアレルギー歴はありませんが、過去に卵アレルギーと思われる経験をしたことがあります。そのため、インフルエンザワクチンの接種は控えていますが、幸いインフルエンザに罹ったことはありません。もっとも最近では、よほど体調が悪い時を除き、卵料理を食べても何ら問題ないようですが。